

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和6年度においては、次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、新大学キャンパスのエントランス部分の木質化を実施しました。
- また、区役所や本庁舎といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、椅子、屋外ウッドデッキ等の整備を実施しました。

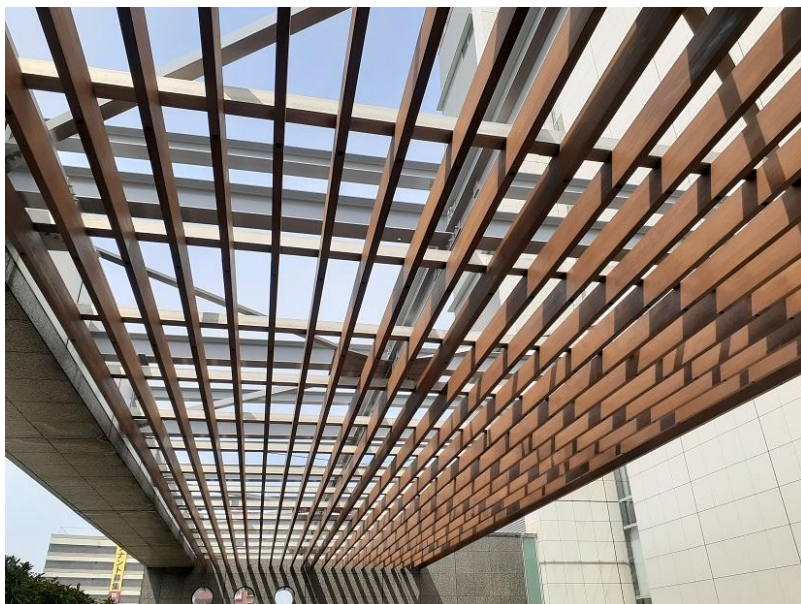
## □ 事業内容

### 国産木材を活用した区役所庁舎整備事業（施設名 西成区役所）

- 多くの来庁者がある3階部分に、国産木材を活用した空間を設けることによって、木のぬくもりや優しさを感じられる空間を創出した

【事業費】26,924千円（うち譲与税26,924千円）

【実績】区役所3階テラスのルーバー改修工事に国産木材を活用

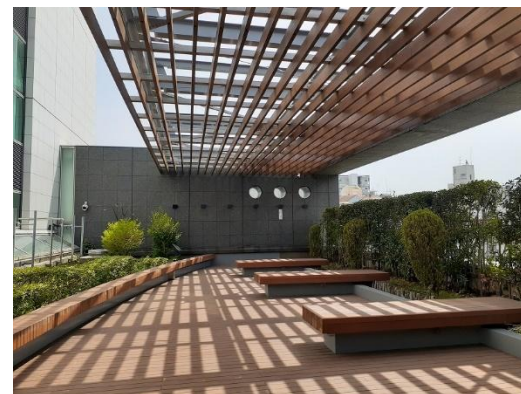


## □ 事業スキーム

- 制限付一般競争入札

## □ 工夫・留意した点

- 令和5年度に整備したウッドデッキと、色調や材質をできるだけ合わせることによって、既存の空間との調和を図った。



## □ 基礎データ

①令和6年度譲与額：337,851千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より